

「第5回エコプロアワード」にて「奨励賞」受賞

～再エネ・水素を組み合わせ、地方都市の防災機能を強化する電力供給モデルが評価～

高砂熱学工業株式会社（以下、当社）が100%出資する「石狩厚田グリーンエネルギー株式会社」（北海道札幌市、代表取締役：貝塚朋二（当社社員））は、太陽光とグリーン水素を活用した新たな電力供給モデル「石狩市厚田マイクログリッドシステム」について、「第5回エコプロアワード」（主催：一般社団法人サステナブル経営推進機構）の奨励賞を、石狩市と共同で受賞しました。



石狩市厚田マイクログリッドシステム 外観

■「エコプロアワード」※1とは

「持続可能な社会づくり」に貢献する製品・サービス、ソリューション、活動等を表彰し、これらのさらなる開発・普及の促進を図る表彰制度です。

■受賞内容

受賞者：石狩市・石狩厚田グリーンエネルギー株式会社

受賞名：太陽光とグリーン水素を活用した新たな電力供給モデル
「石狩市厚田マイクログリッドシステム」

■取り組みと評価ポイント

石狩市北部は、災害時に孤立しやすい地域であり、送電網が脆弱であることから、エネルギーの安定供給に対する課題を抱えています。2018年9月には、北海道胆振東部地震による、約4日間に及ぶ全域停電（ブラックアウト）を経験しました。そこで、再生可能エネルギーと水素を基軸とした、地産地消の新たな電力供給モデルとなるマイクログリッドを構築・運用し、住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりに取り組んでいます。今回の受賞では、蓄電池と水素発電を組み合わせた新しい電力供給システムを開発し、地域のエネルギー供給における課題解決のみならず地域防災力向上にも貢献している点や、他地域への模範となるシステムを構築した点等を評価いただきました。

今後も、この取り組みを通じて得られるノウハウを事業へと活かすとともに、地方自治体・事業者・市民が協力した環境施策のモデルケースとして他地域へも転用していくことで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 エコプロアワード

経済のグローバル化やパリ協定の発効、SDGsの制定など社会経済を取り巻く状況の変化を視野に入れ、日本市場において事業者、消費者、投資家、さらには市場関係者に評価が高く、具体的に優れた環境配慮が組み込まれた製品、サービス、技術、ソリューション、ビジネスモデルといった案件を表彰することによって、これらのさらなる開発・普及の促進を図り、持続可能な社会づくりに寄与することを目的とした表彰制度です。

参考：関連リリース

[プレスリリース「NIKKEI脱炭素アワード2021、プロジェクト部門「大賞」を受賞 地域特性を活かした再エネと水素を利用した防災機能を有するマイクログリッドを実現し、地方都市における「災害に強い地域づくり」に貢献」 \(2022年3月8日付\)](#)

[プレスリリース「北海道石狩市、太陽光・グリーン水素を利用した小規模マイクログリッド 当社100%出資による会社にて運営を開始」 \(2022年4月1日付\)](#)

[プレスリリース エコプロアワード運営事務局「第5回エコプロアワード受賞者決定！」 \(2022年9月7日付\)](#)

以上